

JC News NO.513

2018年度スローガン『温故知新』 次世代へつなげる一歩



一般社団法人 府中青年会議所
Junior Chamber International Fuchu



快挙達成！！祝2冠 全国大会 in 宮崎

府中青年会議所が1年間かけて構築した事業である「革新！快挙！新しい拡大メソッドの確立～Be the One-府中JC～」が、LOM成長部門賞・理事長賞の二冠を達成しました。

府中青年会議所の栗原理事長・浅野担当副理事長・真邊委員長が日本青年会議所の池田会頭より、檀上にて表彰されました。褒章を受賞できたことは、府中青年会議所にとって初めての快挙です。

これにより府中の知名度は、全国に知れ渡らせることが出来ました。

引き続き、府中青年会議所にご注目ください！！

拡大委員会委員長 真邊崇正



第48回広島ブロック大会



第48回広島ブロック大会in三原が9月2日(日)に三原リージョンプラザ文化ホールにて開催されました。7月の豪雨災害により幾つかの事業が中止・縮小して開催されましたが、式典、会員拡大LOM褒賞、道德フォーラム、そして卒業式が行われました。

今回の道德フォーラムは府中からブロックに出向している堀内委員長率いる未来の日本構築委員会の主催により声優の増岡弘さんを講師に迎え開催されました。また、会員拡大LOM褒賞では「拡大増加率」「会員拡大純増数」の二冠を獲得し、栗原理事長が表彰され参加したLOMメンバーも大いに盛り上がった大会となりました。

専務理事 福田竜也

それいけ！わくわく♪トレイン！



8月25日（土）26日（日）と2日間で野外活動事業を開催しました。今回のそれいけ！わくわく♪トレイン！～青春18きっぷで行く、夏の思い出～ですが、旅の計画を子ども達で行い、電車の青春18きっぷを使い、実際に子ども達だけで行動する中で、日常的な環境から離れ、子ども達が主体的に行動する事、直接コミュニケーションをとりながら共通の目的を達成してもらう事を目的として行いました。

1日目は、子ども達3名1組、合計13組のグループに分かれ、旅のしおりに旅行の計画を立てていきました。まずは、自分がやってみたい事や行ってみたい所など、旅の目的を決めてもらい、時間内に電車で行けるか、旅の費用5,000円内で収まるかなど、LOMメンバーとパソコンやスマートフォンを使いながら旅のしおりを完成させました。

2日目、イルカに触ってみたい！神戸の中華街に肉まんを食べに行きたい！姫路セントラルパークに行ってみよう！など、子ども達それぞれ目的を持ち、完成させた旅の計画を達成すべく、わくわくした笑顔で、福山駅より旅に出発しました。旅の中では、電車の乗り換え場所が分からない時は駅員さんに聞き、お店の場所が分からない時は近所の住人さんに聞きながら、ほぼ子ども達だけで行動してもらいました。予定よりお金が足りなくなった、時間を押ししてしまったなど失敗はあったものの、子ども達が主体的に行動した事により、感想文でどの子ども達も、なぜ失敗したか理解し、次は気を付けると、反省していました。また、今までどこかに行った時より楽しかったと、失敗した事も出来た事もいい思い出になったようです。2日間、LOMの皆様にはご協力して頂きありがとうございました。

未来への懸け橋委員会 委員長 溝上法光

中国地区カンファレンス



9月7日（土）に中国地区コンファレンス2018が鳥取の地で開催されました。

中国地区内54の各地青年会議所会員が集まり、式典、フォーラムやたからいちなど盛大に開催されました。

この度、地区褒賞に府中青年会議所から会員拡大委員会の真邊委員長が、未来人財部門にエントリーをし、前日に行われた褒賞審査会最終選考でプレゼンを行いました。結果は惜しくも受賞とはなりませんでしたが、府中青年会議所にとって次年度に繋がる素晴らしい功績を残したのではないのでしょうか。

専務理事 福田竜也

新入会委員紹介



私はJC発足の大学誘致の会からJCに入会しました。大学から上京し10年前に府中に戻りましたが、このま

ではまずいという危機感を感じております。これからはJCの活動を通して府中の産業の発展にも関わっていきたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

山路大介
(株)モノミラ



私は小学校卒業以来、故郷である府中市を長く離れておりましたが、帰郷を機に府中JCに入会させて頂きました。JCの事業を通じて地域社会に貢献すると共に、自身の見聞を深められればと思っております。また、そのような機会を賜りましたこと大変ありがたく感謝申し上げます。多々至らぬ点はあると存じますが、誠心誠意取り組みますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

北川和紀
(株)北川鉄工所・グローバルハンドカンパニー



私は府中市で生まれ育ちました。小さな町ではありますが、住み心地のよい町と思っています。これから府

中JCの活動を通じ、府中をより良い町にするため少しでも貢献できたらと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

重森陽治
(有)府中メッキ工業所



東京・名古屋での社会人経験を経て、府中に戻ってきた時真っ先に感じたのは何とも言えない閉塞感でした。

新しいことへチャレンジしたいという思いを実現できず燻っていた現状を変えたい、府中をもっと勢いのある街へと変えたい。その思いをJCでの活動を通じて実現されていきたいと考えております。その為にも、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

内田忠良
ウチダ株式会社

府中青年会議所創立55周年記念式典・懇親会



去る9月23日（日）、府中市文化センターにて、一般社団法人府中青年会議所創立55周年記念式典懇親会を開催させていただきました。式典では多くのご来賓の方からご祝辞をいただきました。また、府中青年会議所創立当時から、ご指導いただいているスポンサーJCである福山青年会議所様、姉妹締結50周年を迎えた大韓民国、光州青年会議所様、そして、第51代～第55代の、府中青年会議所歴代理事長へ、感謝を込めて記念品の贈呈をさせていただきました。式典の中で栗原理事長から、府中青年会議所55年の歴史の中で、多くの方に支えられて今の私たちがあることを

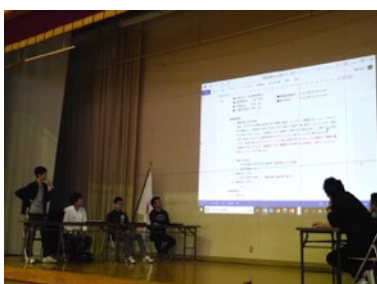
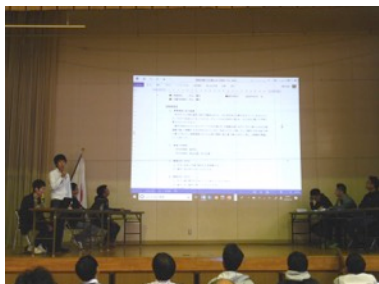
改めて認識するとともに、60周年という未来へ向けて、さらに府中青年会議所が発展していくことをお約束しました。懇親会では終始和やかな雰囲気のもと、本年度入会した新しい仲間を、皆様へご紹介させていただきました。府中青年会議所は、本年度迎えることのできた、この新しい仲間たちとともに、府中という私たちのまちのために邁進し、なくてはならない団体であり続けます。重ねてになりますが、ご出席賜りました皆様、本当にありがとうございました。そして、設営運営に不備があったにも関わらず、無事当日を迎え、終えることができたのは、府中青年会議所メンバーのおかげです。本当にありがとうございました。



最後に、昨年9月より約1年間、一緒に悩み続けて、それでも無事に終えることができたのは、式典懇親会の両部会長のおかげです。この2人なくして、今回の式典懇親会をここまで盛大に開催することはできなかったと、今でも確信しております。本当にありがとうございました。

55周年実行委員会実行委員長 平慶一郎

仮入会員・新入会員セミナー「JCソソ is Back」



場所は、府中市のイナカ（阿字町）にある廃校！天気は、真っ青な快晴！！先日の10月14日に、午前中は仮入会員セミナーとしてJCソソ（JC版ハッカソソ）午後からを新入会員セミナーが最高のコンディションの中、行われました。

JCソソは、2時間の間に府中の未来を変える案を3分間プレゼンテーションにまとめ発表するという内容でした。府中カジノ構想から府中を国として独立されるなど発想力にとんだ案が飛び出し、大変な盛り上がりを見せました。その後、スポーツとしてドッチボールと昼食をはさみ、午後より、新入会員セミナーを執り行いました。こちらは、理事長所信に則り、事業計画書を考えるというより実践に近い形で行われました。

理事長との打ち合わせから、委員会運営まで行いその中で、精査をした事業計画書を、模擬理事会という形で会員全員に説明を行いました。その後、歴代理事長である北川浩一郎先輩のご講演を頂戴し熱い熱気につつまれたまま、セミナーが完了いたしました。

今日得た学びを、これからの事業に生かしてほしいと改めて感じました。

会員拡大委員会委員長 真邊崇正

卒業生インタビュー

磯田一郎君 (インタビューア:千葉一志)

●印象に残っていること

- ①まつりの委員長をさせて頂いたこと。まつりの委員長では本当にやりたいことを全力でさせて頂いたし、委員会を中心にメンバーの皆さんが協力して頂いたことは大変ありがたかったです。
- ②セクレタリーで正副会議に出席したこと。正副会議では理事会に向けて、建設的に話を詰めていく過程が大変印象深かったです。私も資料を隅々まで読み込んだ上で話を聞かせて頂きました。大学誘致を始め、議案も面白い物が多かったですね。
- ③櫻木との再会。私の面接が終わった後の懇親会にて、高校卒業して約20年ぶりに再会したときは、衝撃的でしたし、懐かしい話をしながらお互いオッサンになったんだなと実感しました。そして櫻木から言われた話が全然違う。役を受ける際に「座っとくだけ」と言われたが、全くそんなことなかった。やられたわ。

●JCで身に付いたこと、学んだ事

まず私、大好きなイメージがありますが、そんなことないですから。普通です。そもそも人前に出て話をするようなタイプではなかったから、大変勉強になりました。

- ①JCの可能性を感じた。やろうと思えば地域を巻き込んで様々な活動をしていける事や、企業と企業が協力的に有益的に繋がっていける可能性をJCという組織に感じました。
- ②平康太郎君、北川慶祐君。会議等の発言を聞くと康太郎君は事業の「がわ」ではなく、本質を問う質問をしていました。慶祐君もですが、自分のカラーを出していない様で出していますね。物事を「通す」チカラを持っています。こういった人には大変興味がありますね。

●現役会員へのメッセージ

JCは府中を代表する組織だと思います。地元の活性化に寄与でき、商工会や市の観光協会とも話することができます。そこに在籍しているという認識を持って、色々な事に挑戦して下さい。表向きには人に恥じる行動はするな！裏向きには青年会議所がなんだよ！自分がやりたい事業を通してらよ！



櫻木正彦君 (インタビューア:浅野正裕)

●印象に残っていること

入会してから長い色々あるけど、やっぱり入会当初に先輩達から奢ってもらいまくったことかな(笑)どこに食べに行ってもどこに飲みに行っても一円も使わなかったもん。当時は俺もまだ人にバンバン奢れるほど稼いでなかったけど、ほんまスゲーなと、俺ももっと頑張らなきゃと稼がんといけんなど刺激を受けたことじゃな。

●JCで身に付いたこと、学んだこと

上手い仕事のさばり方かな、やっぱり委員長とかの役を受けるとどうしても仕事の時間を削らんとできんってなることがあるんじゃないけど、そんな時にどうやって仕事に支障がでんように時間が作れるかって考えて仕事の段取りとかするじゃん。そんな事を続けとったら結果的に仕事のスキルも成長したように感じるな。

●現役会員へのメッセージ

なーなー、ホンマなーなー(笑)其々が其々の楽しみや目標をもってやっていけばええんじゃないかって思うで俺は。じゃけ特に俺からのメッセージは無しくて。



府中JC感謝祭



10月21日(日)に、(一社)府中青年会議所創立55周年記念事業「府中JC感謝祭」を、府中市こどもの国ポムポムにて開催しました。今回の事業では、私たち府中青年会議所が55年の長きに渡って運動を続けて来れたのは、まさに住む人たちのご理解、ご協力があってこそという感謝の気持ちと、今年7月に起こった西日本豪雨災害によって被災された人々を、少しでも元気にしようという想いから開催しました。当日は府中市内の中学校、高校、ダンスチーム、太鼓チームなど、多くの団体の方々に音楽ステージを盛り上げていただき、また、府中市ふるさと大使であるアンガールズの田中様、山根

様にも急遽参加していただき、チャリティ抽選会も開催しました。また、ポムポム室内においては、過去に府中青年会議所が行った事業を復刻させ、1日限りの体験会も開催しました。全てのイベントに多くの方に参加していただき、当日は大盛況だったと思います。今回の事業で皆さまからいただいた募金、また売上の一部は、西日本豪雨災害の早期復興のために、府中市へ届けるようになっています。募金いただいた皆さま、本当にありがとうございました。最後に、私たち府中青年会議所の運動は今後も続きます。どうか、今後も皆さまの変わらぬご理解ご協力を、お願い致します。



55周年実行委員会実行委員長
平 慶一郎

まつり委員会担当例会



10月担当例会では備後国府まつりの検証としまして本年度、我々が主導して開催したイベントをメインに問題点の共有とそれに対する解決策の模索、ブラッシュアップをグループワークにて話し合いました。グループワークでは多くの意見をだしていただき、またその案は考えもしなかった大胆な案やすぐに実行できる素晴らしい案など、それらを引き継ぐことで次年度は今年以上の盛り上がり期待されます。メンバー全員で備後国府まつりのことを考

え、このまちのさらなる発展を目指していききたいと思います。11月担当例会では次年度のまつり委員長予定者による来年のまつりの構想を発表しました。その中には10月担当例会でメンバーに考えていただいた内容も踏まえ、アクションプランを考えています。来年はまつりをただ見に行くだけでなく参加しに行くまつり、『参加型』にしていきたくと次年度委員長の熱いプレゼンをしてもらいました。今回の担当例会では私たち府中JCが楽しく盛り上がるまつりのイメージをし、もてなしの意識を共有する大きなきっかけになったと思います。また、他愛のないところでまつりの話題が出ることで更なる盛り上がりにつながることを期待します。

まつり委員会委員長 宇野崇能



ブラモンデン

にはビックリ。今回はラーメンもお好み焼きも注文したが、お好み焼きはキャベツが多く鯉節もしっかり振ってあり家庭的なお好み焼きで、評判が高いのも納得の味。そして出前ではなくお店で食べるのが一番うまいと店長一押し塩ラーメン。こちらは今回取材に付き合ってくれた迫田君も一口食べて思わず「やさしい〜」と漏らしたほどの、まるやかなスープ。話題性を狙ってパンチ力のある味で勝負する昨今のラーメン屋さんとは異なるスタイルで、広島市内から府中に営業で来る度にこちらでラーメンを食べて帰られる常連さん多いらっしゃるとか。府中にもうまい塩ラーメンがあるとは知りませんでした。新聞社勤務時代に培った交通網で、市内至る所へ出前もしているのが「万両」が人気の1つの理由。時間が経ってもおいしく食べられるように工夫されているお好み焼きを皆さんもぜひ一度ご賞味ください！ラーメンは遠くの出前が難しいので、お店で店長の話聞きながらラーメン食べるのもオススメです！

府中には昔3つも映画館があったなんてみなさん知ってましたか？裕次郎好きの店長が教えてくれました。今回もまた1つ府中の歴史を教わりました。お店で食べるのもよし。出前でもよし。皆さんもぜひっ！

社会開発委員会 門田和也



編集後記

皆様のご協力によりJC News 513号を発行できました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

JCNewsNo.513(2018.11.28発行)
一般社団法人府中青年会議所
〒726-003 府中市元町 445-1
府中商工会議所 2F
Tel: 0847-45-2648
Fax: 0847-45-2984
Mail: fuchujc@fuchu.or.jp



今回のお店『万両』
広谷町781-6

本日のお店はラーメンとお好み焼きのお店「万両」。孔子曰く、人生50にして天命を知る。との言葉がありますが、店長が50歳の時に若い頃から働いていた新聞社(日野恵輔先輩の事業所)を辞められて始められたのが今回のお店。ガレージを改装して四半世紀も営業されているだけあってお店は堂々とした貫禄のある店構え。店内に入ると、先日引退表明した卓球でオリンピック銅メダルの福原愛ちゃんのサインが飾ってある(実際に来店されたそうです!)と思いきや、石原裕次郎の映画ポスターが貼ってあったりと歴史を感じる雰囲気。ラーメンとお好み焼きの組み合わせが気になり今回お店に訪れたのだが、店長の話聞いてみるとそもそもはラーメンを出したくてお店をはじめたそうだが、居抜きで借りたお店に鉄板があったのでお好み焼きも初めてみたそうだ。万両といえばお好み焼きだと思っていたのでこれ